

様式第2号 (第7条関係)

会 議 録

会議の名称		第1回川島町保育園経営改革審議会会議
開催日時		令和4年10月31日(月)午後3時00分～午後4時55分
開催場所		役場庁舎2階 中会議室
議 題		(1) 保育園経営改革審議会について (2) 子ども・子育て会議の提言書について (3) 町の保育の現状について (4) 今後の会議のスケジュールについて
公開・非公開の別		公開(傍聴人0名)
出席者	委員 (敬称略)	中谷 茂一、鹿山 洋子、阿部 英之助、加藤 桂子、高倉 富美子、 笛木 哲、茂木 久代、岸田 淳子、金子 美咲、新井 諭、 飯島 久美子
	事務局職員	子育て支援課 島村 明子、小林 覚、小島 知美、大河原 美樹
配布資料		【配布資料】 資料1 第1回川島町保育園経営改革審議会会議次第 資料2 川島町保育園経営改革審議会委員名簿 資料3 川島町における保育園の経営改革について(諮問) 資料4 川島町保育園経営改革審議会条例 資料5 保育園運営に関する提言 ～今後の保育園のあり方について～ 資料6 町の保育の現状
審議会等の内容・概要		
<p>1 開会 島村課長</p> <p>2 委嘱状交付 ・新たに任期が始まるため、全委員に飯島町長より委嘱状を交付しました。</p> <p>3 町長あいさつ 飯島町長</p> <p>4 川島町保育園経営改革審議会会長及び副会長の選出 ・川島町保育園経営改革審議会条例第4条により委員の互選によって定めることとなっています。会長に中谷委員、副会長に鹿山委員が推薦され、各委員より承認されました。</p> <p>5 諮問 ・飯島町長より中谷会長へ、川島町における保育園の経営改革に関する事項について諮問しました。</p> <p>6 議事 ・本日の会議及び会議録は公開かつ会議録は要点筆記である旨を説明しました。 ・会議録の署名委員は2号委員の笛木委員と茂木委員に依頼しました。</p> <p>(1) 川島町子育て支援事業計画について ・保育園経営改革審議会について、条例を基に説明しました。</p> <p>(2) 保育園の経営改革の検討について ・令和3年(2021年)11月に町長へ提出された提言書について、提出した背景</p>		

や川島町の保育園の状況、提言書において保育園の経営改革は審議会等を設置し、さらに検討する必要があると述べられていること、本審議会は提言書の内容に基づき設置されたことを説明しました。

(3) 町の保育の現状について

- ・令和4年10月時点での町の幼児教育・保育の状況等について説明しました。
- ・今後審議を行う上で必要な資料がある場合は、11月4日までに事務局へ連絡してほしい旨を説明しました。

(4) 今後の会議のスケジュールについて

- ・今後の会議のスケジュールについて、第2回会議を11月15日に行うこと、第5回会議で町長に答申を行うことを説明しました。

7 閉会 鹿山副会長

**ご意見まとめ**

(1) 保育園経営改革審議会について

意見なし。

(2) 子ども・子育て会議の提言書について

【委員】〔資料5〕2ページ『児童の状況及び3歳児から5歳児の児童の入所状況』では児童が減少していますが、町外から川島町に転入してくる児童数は、どのくらいですか。

【事務局】次回会議にて回答します。

【委員】〔資料5〕4ページ『町立保育園職員の推移』では正規職員が減少していますが、予算の都合により正規職員を採用できず、会計年度任用職員で対応しているのでしょうか。正規職員になることを希望していないのでしょうか。

【事務局】近年、町では正規職員の保育士を採用していませんが、保育ニーズがあるため、会計年度任用職員を採用しています。町の正規職員を希望していた会計年度任用職員が、他市町村の正規職員として採用されたため退職した事例があります。

(3) 町の保育の現状について

【委員】〔資料6〕令和4年度から8年度受入児童数の表が2種類ありますが、違いはどのようなことですか。

【事務局】どちらも緑色部分は、令和2年(2020年)3月に策定された川島町将来推計人口から引用しています。そのため、(R5～児童数)と書かれた資料は、新型コロナによる影響は反映されていません。新型コロナが流行したことにより出生数が減少したため、(R4児童数持ち上がり～、R5～児童数)と書かれた資料は、実情に合わせて作成しています。

【会長】今後、審議する際は実情に合わせた資料を基にすれば良いのでしょうか。それとも、将来推計人口で行うべきでしょうか。子どもが増える場合、職員も増やす必要があると思います。

【事務局】実情に合わせた資料を基に審議をしていただきたいと思います。

【委員】〔資料6〕川島町将来推計人口は年齢ごとに毎年度5名ずつ増加していますが、現在も5名ずつ増加していますか。

【事務局】策定当時は5名ずつ増加していたものと考えられますが、現在は5名ずつ増

加していません。

【委員】5歳児から転入することは、ほとんどありません。そのため、確実に児童数は減少しています。〔資料5〕P106の(参考)川島町人口推計は、川島町将来推計人口より実態に近いと思います。

【会長】所属率とは、どのような率ですか。

【事務局】全施設の年齢別受入可能人数に対する児童数の比率です。令和4年度の0歳児は61名おり、受入可能人数が合計14名のため、所属率は23.0%となります。

【委員】〔資料6〕町外施設は、現在利用している施設ということでしょうか。町外施設を利用する理由は、どのような理由ですか。

【事務局】現在利用している施設となっています。町外施設を利用する理由は、職場が近いことが挙げられます。

【委員】川島町と同じ人口規模の市町村と比較して、割合などはどのようになっていますか。

【事務局】次回会議にて回答します。参考として、平成30年度に調査した際は、川島町は2園・定員220名、吉見町は1園・定員140名、上里町は2園・定員120名、寄居町は4園・定員450名となっています。

【委員】現在の0～5歳児を合計すると511名となっており、令和7年度まで増加し令和8年度から減少する資料となっています。令和9年度以降も減少するのでしょうか。

【事務局】令和9年度は川島町将来推計人口では、合計639名となっています。

【委員】2園とも閉園した場合や1園にした場合、私立保育園や企業が運営する場合の補助金など、パターン別の試算表などはありますか。

【事務局】次回会議にて配付します。

#### (4) 今後の会議のスケジュールについて

【委員】資料は事前に配付していただければ先に確認ができるので、事前配付を希望します。

【事務局】事前に配付します。

署名	笛木哲
	茂木久代